

石川県キャリア形成卒前支援プラン（R4.11策定、R8.9改定）

このキャリア形成卒前支援プランは、金沢大学医薬保健学域医学類石川県特別枠（金沢大学医学類特別枠）及び自治医科大学医学部の学生（石川県を試験地とし入学したもの）を対象とし、学生期間を通じて地域医療に貢献するキャリアを描けるよう支援することを目的とし、定めるものです。

（1）対象者

令和5年度以降に入学した以下の学生を対象とします。

① 金沢大学医学類特別枠の学生

② 石川県を試験地として出願した自治医科大学医学部の学生

※ただし、令和4年度以前の入学者について、本プランの適用を希望する者に対し、その者の同意を得た場合、本プランを適用します。その場合、一部を変更して適用する場合があります。

（2）対象期間

入学時または本プランの適用に同意を得た時から卒業時までとします。

（3）卒前支援プロジェクトの設定

2つの卒前支援プロジェクトを設定します。

① 金沢大学医学類特別枠卒前支援プロジェクト

② 自治医科大学医学部卒前支援プロジェクト

（4）本プランの適用

① **金沢大学医薬保健学域医学類特別枠の学生**

志願者は、入学後に手続きを行う石川県緊急医師確保修学資金の手続き時に本プラン適用の同意書を提出します。金沢大学医学類特別枠卒前支援プロジェクトを適用します。

② **石川県を試験地として出願した自治医科大学医学部の学生**

志願者は第一次試験開始前までに本プラン適用の同意書を提出します。自治医科大学医学部卒前支援プロジェクトを適用します。

（5）本プランの休止

やむを得ない理由により、対象学生から、県に本プランの適用休止の申出があった場合、プランの適用を休止する場合があります。

ただし、本プランの適用が休止されている場合でも、卒業後は県が定めるキャリア形成プログラムに則り、指定医療機関での勤務（臨床研修を含む）を行っていただきます。

（6）卒業後の勤務

① **金沢大学医学類特別枠の卒業者**

金沢大学医学類特別枠キャリア形成プログラムに基づき、指定医療機関で勤務します。

② **自治医科大学医学部の卒業者**

自治医科大学キャリア形成プログラムに基づき、指定医療機関で勤務します。

（7）その他

- ・本プランを適用された学生は真摯に取り組むこととします。
- ・本プランの運用補助のため、キャリアコーディネーターを設置します。
- ・本プランは必要に応じて見直しを行います。
- ・本プランの適用等、必要な手続きに関する様式は別途定めます。

石川県キャリア形成卒前支援プラン

①金沢大学医学類特別卒前支援プロジェクト

1 年生

2 年生

3 年生

4 年生

5 年生

6 年生

医学類ディプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）に地域医療を設定

・地域における医療・保健・福祉などの連携を理解する ・医療の経済的側面を理解する

地域概論

医学類の専門分野を地域との繋がりや社会への貢献の視点から理解する。地域法医学や県医師会との連携講義。

※医学類教員が担当する共通教育科目

プロフェッショナリズム

臨床医に限定せず、様々な立場で活躍する医療者にインタビューすることを通じてプロフェッショナリズムとは何かについて考え、自らのキャリア形成の参考にする。

衛生・公衆衛生学Ⅰ

健康増進のために必要な基礎的知識を習得する。また、疫学や臨床研究に基づくエビデンスを理解するための方法論を習得する。

必修臨床実習（コア・ローテーション）

医療チームの一員であるスチューデント・ドクターとして患者の診療活動に10ターム40週間参加。必修臨床実習（コア・ローテーション）においては地域医療実習（4週間コース+2週間コースで合計6週間）を実施。

必修臨床実習（サブスペシャリティー）

腫瘍内科学、皮膚科学などサブスペシャリティー・ローテーションを6ターム（18週間）実施。

選択臨床実習（インターンシップ）

14週間（12週+選択2週間）連続での総合診療・地域医療実習が可能。

早期医療体験

医師のプロフェッショナルリズム、医療面接の基本、接遇、患者さんとの懇談、医療現場での実習を通じて、医療の基本としてのコミュニケーションの重要性を認識する。

社会科学・行動科学（多職種連携教育）

文化的社会的文脈のなかで人の心と社会の仕組みを理解するための基礎的な知識と考え方及びリベラルアーツを学ぶ。

総合診療学・地域医療学

指定された自治体の地域アセスメントを実施する。①地理的特徴、社会資源、②人口動態などのシステム毎にオープンデータソースにアクセスし、地域アセスメントを行う。

総括講義

臨床実習終了後、知識の整理を行うことで、医師としての準備を行う

衛生・公衆衛生学Ⅱ

人間をとりまく環境要因、社会要因と健康との関連を考究。

エコー部（学内外の様々な領域の専門家と連携してPoint of Care超音波を学ぶ）

地域医療実習（能登北部医療圏の病院など）

メディカルキャラバン
（全国の地域医療機関）

総合診療・地域医療をテーマとし、Early exposureを
目的とした“現場学ぶ”短期研修プログラム

キャリア相談（随時）

在学生の交流を深めるグループワーク・実習

特別卒業者・地域医療関係者との交流会

金沢大学医学類カリキュラム

学外教育

石川県キャリア形成卒前支援プラン

①金沢大学医学類特別枠卒前支援プロジェクトにおける学外教育（R7年度実績）

1. キャリア相談（随時）

特別枠学生及び卒業生に対し年1回以上面談の場を設け、卒業後の勤務パターンの周知のほか、学業面や生活面に対する助言、希望診療科の調査などの進路相談を実施

2. 在学生の交流を深めるグループワーク・実習（不定期開催）

在学生の交流を深めるグループワーク等を毎年実施。学年を混在させたグループ単位で年10回程度実施

3. 特別枠学生交流会、特別枠学生・医師・地域医療関係者との交流会（各年1回開催）

○特別枠学生交流会

<R7年度実績>

日 時：令和7年6月20日（金）

参加者：特別枠学生41名

内 容：新1年生の紹介
グループワークの説明
特別枠制度の説明など

○学生・医師合同交流会

<R7年度実績>

日 時：令和7年11月29日（土）

参加者：特別枠医師41名、特別枠学生38名

内 容：総合診療共創センターと特別枠学生、医師の関わりについての特別講演
グループディスカッション
卒業医師の勤務・生活経験などの紹介
特別枠制度の現状説明

4. 地域医療実習（能登北部の医療機関など）

能登北部等の病院において、診療や訪問看護の見学など地域医療実習を実施

<R7年度実績>

8月20日～21日：市立輪島病院 参加者：1年生 4名、3年生1名

8月21日～22日：珠州市総合病院 参加者：3年生 1名

2月18日：市立輪島病院 参加者：1年生 4名



石川県キャリア形成卒前支援プラン

②自治医科大学医学部卒前支援プロジェクト

1 年生

2 年生

3 年生

4 年生

5 年生

6 年生

自治医科大学カリキュラム

地域医療学総論

(ねらい)

- ①地域医療の概要を理解
- ②地域志向の基本を理解

地域医療学各論1

(ねらい)

- ①地域医療の基本的事項を系統的に理解する
- ②地域医療の学問的態度や考え方を養う

地域医療学各論2

(ねらい)

- ①臨床各科のBSLで学習する前の社会的常識、必須の準備事項を理解し、身につける
- ②医の倫理と患者の権利について理解するなど

地域医療学各論3(新)

(ねらい)

- ①地域医療を通して地域社会におけるリーダーとしてふさわしい医師になるための素養を習得する
- ②地域医療や地域社会の未来像を理解する

地域医療学各論3(旧)

(ねらい)

- ①地域医療を実践する上で必要な知識、技術、態度を理解する など

公衆衛生学

(ねらい)

- ①講習精鋭活動および保健医療福祉行政の実際を理解する など

地域医療学各論4

(ねらい)

- ①地域医療を通して地域社会におけるリーダーとしてふさわしい医師になるための素養を習得する
- ②地域医療や地域社会の未来像を理解する

早期体験実習

(ねらい)

- ①医療従事者や患者について理解する
- ②大規模ならびに中小規模の医療機関の役割について比較しながら理解する

地域福祉実習

(ねらい)

- ①地域における保健・医療・福祉・介護の分野間および多職種間の連携の必要性を説明できる
- ②対人援助や介護の考え方を理解する

地域医療Ⅰ実習

(ねらい)

- ①スチューデント・ドクターとして内科診療の基本的な考えかた、診療技術、望ましい態度を実践する
- ②外来診療を通じて、地域包括ケアを理解する など

地域医療Ⅱ実習

(ねらい)

- ①地域医療（含へき地医療）を第一線の現場で体験する など

地域保健実習

都道府県拠点病院実習

(ねらい)

- ①原則として、各出身都道府県の拠点病院での現場体験をする
- ②拠点病院での実践に触れながら、自らの将来設計（キャリア形成）を考える

学外教育

県人会活動

夏期実習（舩倉島診療所訪問） ※金沢大学医学類特別枠大学生と合同